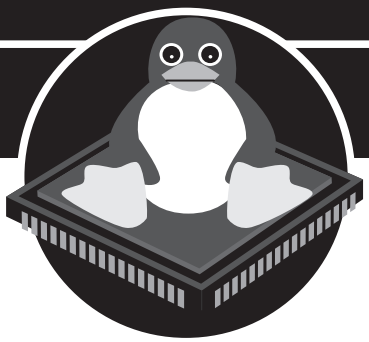
さまざまなシングル・ボード・コンピュータ向けに
自分専用カスタム！

ご購入はこちら



Yocto Projectではじめる 組み込みLinux開発入門

第18回 Yocto Project 5.0編①…新機能紹介＆最小構成イメージの生成

三ツ木 祐介

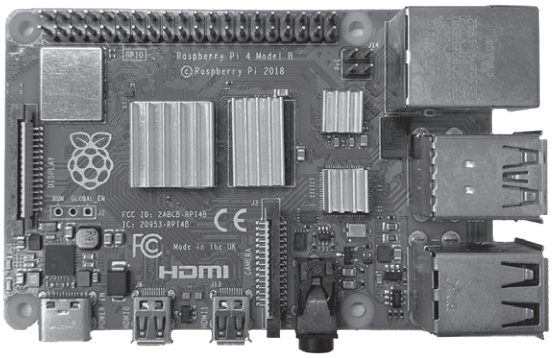


写真1　今回からやること…最新LTSであるYocto Project 5.0（Scarthgap）でラズパイ4向けLinuxを作ってみる

今回からは，2024年4月にリリースされた最新のLTS（Long Term Support）であるYocto Project 5.0（コードネーム：Scarthgap）を紹介します．ターゲット・ボードにはラズベリー・パイ4モデルB（以降，ラズベリー・パイ4）を使用します（**写真1**）．

Yocto Project最新のLTS「Scarthgap」とは

Scarthgapは執筆時点の最新のLTSバージョンで，2028年4月までサポートされます．最新バージョンは5.1（Styhead）ですが，こちらは2024年10月のリリースから7カ月間のサポートとなっていて，今年（2025年）の5月にはサポートが終了される予定です（**図1**）．

● サポートするコンポーネント

LTSによってサポートされるコンポーネントは，次の通りです．

- BitBake
- OE-Core（meta）
- meta-poky
- meta-yocto-bsp
- ドキュメント

▶レシピの脆弱性対応やバグ・フィックスが行われる

基本的にLTSのサポートではビルド環境に対する機能追加などは行われず，各レシピの脆弱性対応やバグ・フィックスなどが行われます．

meta-raspberrypiやimx-yocto-bspなど

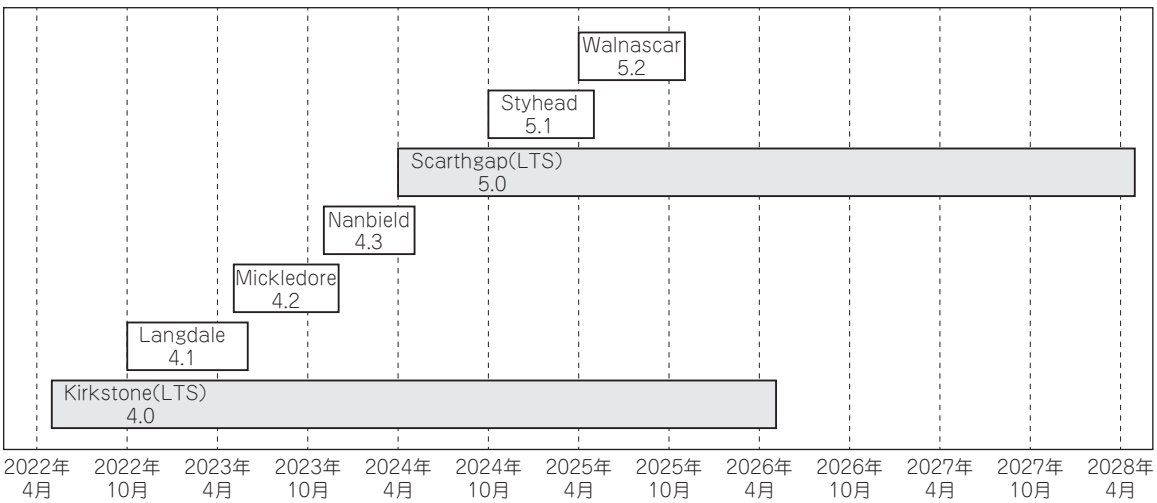


図1[(1)]　Yocto Project各バージョンのリリース時期とサポート期間

第1回　組み込み開発とLinuxの関係（2022年9月号）
第2回　ラズパイ編①…最小構成のLinuxイメージを作る（2022年10月号）
第3回　ラズパイ編②…Dockerを使ってWindowsにビルド環境を構築する（2022年11月号）